

仙台の冬の風物詩「2020 SENDAI 光のページェント」を支援 LED 電球 約4万球相当を寄付

サッポロホールディングス（株）は、本年も「2020 SENDAI 光のページェント」で使用するLED電球の購入資金として、約4万球相当の200万円を寄付しました。併せて、仙台市 郡和子市長へ同イベントの支援内容について報告を行いました。

「SENDAI 光のページェント」は、杜の都として知られる宮城県仙台市の“冬の風物詩”としての顔を持ち毎年数多くの方々が訪れるイルミネーションイベントで、今年で35回目を迎えます。震災により使用していたほとんどの電球が津波で失われましたが、みんなの力でページェントを灯し続けたいとの思いに賛同し、サッポロホールディングスは2012年から恵比寿麦酒祭り（注1）で販売したビールの売上相当額から寄付を継続しています。本年は新型コロナウイルス感染拡大防止から開催が危ぶまれておりましたが、実施日・点灯時間・各種イベントの変更・中止の決定、ガイドラインの設定等これまでとは違った形での開催が決定されました。本年は恵比寿麦酒祭りの開催を中止しましたが、例年通り継続して支援することといたしました。

サッポログループは、サステナビリティ方針である「大地と、ともに、原点から、笑顔づくりを。」に基づき、「仙台を明るくしたい」の思いに賛同し、仙台をはじめ被災された東北全体のさらなる復興を願い、今後も東北復興支援を継続していきます。

（注1）恵比寿の地ならびにエビスビールを育ててくださった方々への感謝の気持ちとともに、日本のビール文化をより豊かなものにするを目的に、2009年から毎年9月に本社所在地である恵比寿ガーデンプレイスで開催しているビヤフェスティバル。2011年から販売したビール売上金相当額を東北復興支援として寄付を継続しています。2016・2017年は東日本大震災・熊本地震、2018年は東日本大震災・熊本地震・西日本豪雨・北海道胆振東部地震の復興支援に活用しています。本年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

記

1. 寄付金額
200万円（LED電球 約4万球相当）
2. 寄付先
「2020 SENDAI 光のページェント」実行委員会
実行委員長 高橋 進伍 様
3. 贈呈式
日 時：2020年12月11日（金）
場 所：仙台市役所 本庁舎2階 第4委員会室



以上